

CS+用 RXコード生成 e2 studio (Code Generatorプラグイン) RXコード生成支援ツール AP4 ご使用上のお願い

CS+用 RXコード生成、e2 studio (Code Generatorプラグイン) および RXコード生成支援ツール AP4 の使用上の注意事項を連絡します。

1. I2Cバスインタフェース(RIIC)のNACK受信転送中断の許可 および 禁止設定に関する注意事項

対象: RX71Mグループ、RX64Mグループ、
RX23Tグループ、RX230グループ、RX231グループ
RX110グループ、RX111グループ および RX113グループ

2. リアルタイムクロック(RTC)のRTCOUT出力許可設定に関する注意事項

対象: RX110グループ、RX111グループ および RX113グループ

3. データトランスファコントローラ(DTC)の設定に関する注意事項

対象: RX71Mグループ、RX64Mグループ、
RX23Tグループ、RX230グループ、RX231グループ および RX113グループ

1. I2Cバスインタフェース(RIIC)のNACK受信転送中断の許可 および 禁止設定に関する注意事項

1.1 該当製品

- CS+用 RXコード生成 V1.00.00以降
- e2 studio V2.1.0.21以降 (Code Generator プラグイン V1.0.0以降)
- RXコード生成支援ツール AP4 V1.05.00以降

1.2 該当デバイス

RXファミリ: RX71Mグループ、RX64Mグループ、

RX230グループ、RX231グループ、RX23Tグループ、
RX110グループ、RX111グループ および RX113グループ

1.3 内容

I2Cバスインタフェース(RIIC)をマスタモード または スレーブモードで使用する
場合、r_cg_riic.h にあるシンボル定義に誤りがあるため、正しくノットアク
ノリッジ(NACK)受信転送中断の許可 または 禁止設定ができません。

1.4 回避策

r_cg_riic.h にあるシンボル定義を下記に従い修正してください。
なお、コード生成後は常に修正が必要です。ただし、"ユーザコード保護機能"の
使用により、修正したシンボル定義を再コード生成実行後も有効にしておくこと
が可能です。詳細は以下のFAQをご参照ください。

FAQ No.1011722

<https://support.renesas.com/hc/ja/articles/218129257>

修正前:

```
-----  
/*  
  I2C bus function enable register (ICFER)  
*/  
/* NACK reception transfer suspension enable (NACKE) */  
#define _00_IIC_NACK_SUSPENSION_ENABLE      (0x00U)  
      /* Transfer operation not suspended during NACK */  
#define _10_IIC_NACK_SUSPENSION_DISABLE    (0x10U)  
      /* Transfer operation suspended during NACK */  
-----
```

修正後:

```
-----  
/*  
  I2C bus function enable register (ICFER)  
*/  
/* NACK reception transfer suspension enable (NACKE) */  
#define _00_IIC_NACK_SUSPENSION_ENABLE      (0x10U)  
      /* Transfer operation not suspended during NACK */  
#define _10_IIC_NACK_SUSPENSION_DISABLE    (0x00U)  
      /* Transfer operation suspended during NACK */  
-----
```

1.5 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

2. リアルタイムクロック(RTC)のRTCCOUT出力許可設定に関する注意事項

2.1 該当製品

- CS+用 RXコード生成 V1.00.00以降
- e2 studio V2.1.0.21以降 (Code Generator プラグイン V1.0.0以降)
- RXコード生成支援ツール AP4 V1.05.00以降

2.2 該当デバイス

RXファミリ: RX110グループ、RX111グループ および RX113グループ

2.3 内容

リアルタイムクロック(RTC)をバイナリモードで使用し、RTCCOUT(1Hzクロックまたは 64Hzクロック)出力許可を設定する場合、生成コードに誤りがあります。RTCコントロールレジスタ2(RCR2)への代入演算子に誤りがあるため、正しくレジスタに値を設定できません。

2.4 回避策

r_cg_rtc.c にある関数 void R_RTC_Create(void) の出力コードを下記に従い修正してください。なお、コード生成後は常に修正が必要です。

修正前:

```
-----  
void R_RTC_Create(void)  
{  
.....  
    /* Select count mode */  
    RTC.RCR2.BIT.CNTMD = 1U;  
.....  
    /* Set control registers */  
    RTC.RCR2.BYTE = _08_RTC_RTCCOUT_OUTPUT_ENABLE; /* <- 単純代入 */  
                /* 演算子 */  
.....  
}
```

修正後:

```
-----  
void R_RTC_Create(void)  
{  
.....  
    /* Select count mode */  
    RTC.RCR2.BIT.CNTMD = 1U;  
.....  
    /* Set control registers */  
    RTC.RCR2.BYTE |= _08_RTC_RTCCOUT_OUTPUT_ENABLE; /* <- OR代入 */  
                /* 演算子 */
```

.....

}

2.5 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

3. データトランスファコントローラ(DTC)の設定に関する注意事項

3.1 該当製品

- CS+用 RXコード生成 V1.02.00以降
- RXコード生成支援ツール AP4 V1.05.00以降

3.2 該当デバイス

RXファミリ: RX71Mグループ、RX64Mグループ、
RX23Tグループ、RX230グループ、RX231グループ
および RX113グループ

3.3 内容

以下の手順で、コード生成の周辺機能設定 および プロジェクト操作を行うと
コード生成のデータトランスファコントローラ(DTC)の設定が初期状態に戻って
しまいます。

- (1) DTCの設定を行い、プロジェクトを保存し閉じる。
- (2) 上記(1)のプロジェクトを再度開き、DTC以外の周辺機能(例 8ビットタイマ)
の設定画面を開いてから、周辺機能の設定を行う。
- (3) プロジェクトを保存し、プロジェクトを閉じる。
- (4) 上記(1)-(3)で設定したプロジェクトを再度開く。

3.4 回避策

コード生成のDTCの設定を含むプロジェクトで周辺機能の設定を行うときは、
コード生成のDTCの設定画面を開いてから、他の周辺機能を設定するようにして
ください。

3.5 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

